

上尾市学校施設更新計画基本計画に対していただいたご意見・ご要望及びそれに対する市の考え方(回答)

【上尾市自治会連合会、10地区自治会、上尾市PTA連合会】

資料 1

1. 上尾市学校施設更新計画

上尾市教育委員会教育総務課

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)	
001	上尾地区自治会連絡会(6月)	・学校がなくなるのはとんでもない話である。	<p>本市では、急増した児童生徒数を受け入れるため、昭和40年代から50年代にかけて集中して小中学校の建設を進めてきましたが、約50年が経過した現在は、施設の老朽化が進んでいます。また、児童生徒数は、建設当時と比較すると、現在は半数程度の約1万6千人まで減少し、クラス替えができない学年がある小規模校が点在するなど、学校間の規模に偏りが生じています。</p> <p>そして、教育のICT化など建設当時とは大きく変化した授業の形態に対応し、また熱中症やコロナ対応など、時代に即した最新の教育環境の整備が求められています。</p> <p>このような中、今後、孫の世代までの長きにわたって「持続可能な教育環境づくり」を推進するためには、建物の経年劣化による学校の更新に併せて、最新の教育環境に適応した施設整備をするとともに、学校の小規模化などの時代の経過により発生した諸課題についても、この更新のタイミングで全市的に解消させる必要があり、教育と行財政の両方の観点から、35年という長期的な視点をもって本計画を策定しました。</p>	
002	上尾地区自治会連絡会(6月)	・コロナ対策が先であり、このようなことをやっている場合ではない。		
003	平方地区自治会連合会(6月)	・市が財政破綻をすれば本末転倒なので、トータルで考えれば、子供が減るなら学校を減らしていくのは正しい考えだと思う。		
004	平方地区自治会連合会(7月)	・平方地区は総論賛成であるが、他の地区によっては違うこともあると思う。		
005	平方地区自治会連合会(7月)	・状況として子供が減っていき、それをそのままにしておいたのでは、結局のところ市の財政が破綻してしまう。それは責任問題となってくる。		
006	大石地区自治会連合会(6月)	・上尾市の限られた予算の中の公共施設マネジメント施策の展望の中から、出てきたことを実感した。		
007	大石地区自治会連合会(7月)	・人口減少や施設の老朽化の課題で、全国的に学校再編を行っていることは理解できる。		
008	大谷地区自治会連合会(7月)	・予算について、財政的には本当に大丈夫なのか気になる。長期的なビジョンを見据えてやっていかないといけないが、財政的な裏付けがないまま突っ走っても、上手くいかないと思う。財政的に厳しいのであれば、それなりの計画で進んでいかないといけない。		
009	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・学校教育の質的な問題は関係なく建物だけの問題となっている。建物の老朽化、面積の縮減で学校教育を解読するのは間違っている。今のところ反対の立場である。		
010	西上尾第二団地自治会(11月)	・持続可能なという良い表現がされている。		
011	上尾市PTA連合会(6月)	・概要版の資料を見る限り、子供たちが減っているので、単純に学校を減らして、減った分の施設を有効活用しようという点が強く感じられる。		
012	上尾市PTA連合会(6月)	・子供が、将来に向けてしっかり学ぶ環境面を主眼に置いていただき、教育内容、教育の質も向上するための議論をしていただきたい。		
013	上尾地区自治会連絡会(7月)	・文科省の長寿化でやりなさいということに対して、そのシミュレーションも実施して、説明して欲しい。		今後、検討してまいります。
014	大石地区自治会連合会(7月)	・財政状況もあると思うが、文科省の考えなども加味しながら、進めていってほしい。		

2. 計画の進め方

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	上尾市自治会連合会(6月)	・説明時間が短いし、いつから始めるとスケジュールが決まっている。こんなやり方はない。	<p>皆様からいただいたご意見やご要望を参考に、計画の周知や意見聴取の手法についても幅広く検討してまいります。また、未就学児保護者への計画の周知や意見聴取の方法につきましても検討してまいります。</p> <p>なお、見直しを行った再編案につきましては、地域説明会や小中学校保護者説明会を開催するなどし、丁寧に市民の皆様への周知及び説明を行ってまいります。</p> <p>※ 本計画を見直しすることとなりましたので、見直しにあたっては、市民の皆様から丁寧に意見聴取を行ってまいります。</p> <p>なお、見直しを行った本計画につきましては、地域説明会や小中学校保護者説明会を開催するなどし、丁寧に市民の皆様への周知及び説明を行ってまいります。</p>
002	上尾市自治会連合会(6月)	・子供のことなのでゆっくり時間をかけたらどうか。	
003	上尾市自治会連合会(7月)	・学校問題は極めて重要な話で、瓦葺地区での地域説明会開催も検討してもらいたい。	
004	上尾市自治会連合会(7月)	・学校ごとの説明会は必要である。	
005	上尾地区自治会連絡会(6月)	・計画の周知になっていない。十分な時間を確保してほしい。	
006	上尾地区自治会連絡会(6月)	・計画ありきで意見を聞くがこのままいってしまうのだろうと、皆思っている。皆が誤解しないよう丁寧な説明が必要である。	
007	原市地区自治会連合会(6月)	・地域説明会は、この人数でよいのかとことがある。これで市として説明をしましたと言われると困る。	
008	原市地区自治会連合会(7月)	・新しい協議会ができたならロードマップをきちんと作ってほしい。協議会を立ち上げて、開始から終わりまで、PTAや校長会議、議会、自治会と住民向け説明会とか、そういう問題も含めて予定を全部オープンにしてほしい。	
009	大石地区自治会連合会(7月)	・児童生徒、教職員にも十分説明が必要である。	
010	大谷地区自治会連合会(7月)	・実際には自治会長よりも学校と保護者関係を中心に具体的に説明をしていかないといけない。そうしないと話は進まないし同意は得られないと思う。	
011	大谷地区自治会連合会(7月)	・これから学校に通う保護者には関心があることである。	
012	大谷地区自治会連合会(7月)	・未就学児が影響を受けることになるため、そのような配慮をすべきである。計画を考えている人たちだけで完結しないようにしてほしい。	
013	大谷地区自治会連合会(7月)	・PTA関係等の狭い枠にとらわれず、民間で働いている方の休みの時に出られる場を設けてほしい。	
014	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・計画を伝えないといけないのは今の幼稚園や保育所の保護者である。全体に分かってもらうような周知をしてほしい。	
015	上尾市PTA連合会(6月)	・PTA会員に基本計画概要を周知し、説明会の要望が集まった時点で改めて出張講座の相談をさせてほしい。	
016	上尾市PTA連合会(6月)	・保育園や幼稚園に通っているお子さんも学校再編の影響を受けると思うため、その保護者への説明も必要であると思う。	

017	上尾市自治会連合会(6月)	・各地区定例会でよく説明をしてもらいたい。	本計画に関する説明や経過報告については適宜させていただきます。
018	原市地区自治会連合会(6月)	・自治会は何をしているのかというようなことを含め、地域の方に説明ができるようにしてほしい。	
019	大石地区自治会連合会(6月)	・夢のある話で学校を良くしていきたいという方向性をもって自治会長を味方につけてほしい。	
020	大石地区自治会連合会(6月)	・説明会ありきではなく、今のこの自治会の中で理解を得るようにしてほしい。	
021	大谷地区自治会連合会(7月)	・現役世代の話は本当にためになると思うし、いくらでも手伝う。	
022	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・我々も最初から反対、賛成と言うために来ているのではない。内容を理解し、納得できれば「良かった」となり、納得できなければ「うんと言わない」となる。地域の声をしっかり聞く体制をとってほしい。自治会としては、地域の声を聞くことに対し協力していく。	本計画の策定に当たっては、関係部署の職員で構成される「上尾市学校施設更新計画策定委員会」及び「上尾市学校施設更新計画策定作業部会」を平成29年度に組織し、委員会は18回、作業部会は26回の会議の中で協議を行い、計画(案)の検討を進めました。 市民からの意見聴取としましては、児童、生徒、保護者、教員及び未就学児の世帯へのアンケート調査や、公募市民等によるミーティングの開催、自治会長、PTA、学校関係者及び有識者による懇話会の開催など、幅広く意見を伺いながら、令和元年12月に「基本方針」を策定し、基本方針をベースに「基本計画(案)」の検討を進めてきました。 「基本計画(案)」については、上尾市教育委員会定例会において、令和3年1月に協議を行い、市民コメントを経て、令和3年4月に再度協議を行い、令和3年5月の市長以下で組織される上尾市個別施設管理基本計画等評価委員会での承認後、令和3年5月の上尾市教育委員会定例会において議案として提出し、議決をいただいた後、正式に本市教育委員会の計画となりました。
023	上尾市自治会連合会(6月)	・この計画は知られていない。いきなりできた。	
024	上尾地区自治会連絡会(7月)	・本来ならば、計画(案)の段階で説明し、意見を募るのが本来の流れだと思う。	
025	上尾市自治会連合会(6月)	・コロナ禍で地域説明会を無理してやることはない。	
026	大谷地区自治会連合会(7月)	・実際に協議会に参加して意見を述べてほしいのであるなら、若い人たちが良い。実際の親たちの意見を聞かないといけない。	新型コロナウイルスの感染防止対策を講じたうえで、地域説明会を開催します。 新しい学校づくり検討協議会の構成メンバーについては、PTA、校長、自治会の方々を考えておりますが、設立の際には地域の方々に相談し、地域の実情等を考慮しながら決定していきたいと考えております。
027	大谷地区自治会連合会(7月)	・検討協議会の構成メンバーに関して、自治会長と言わずに、こういった問題に興味がある方の参加の機会を設けてほしい。	
028	大谷地区自治会連合会(7月)	・検討協議会の拡大しすぎも良くないが、ある程度は民間で働いている優秀な若い方が結構いるので、そういう方の柔軟な意見もくみ取れるようにした方が良い。	

3. 児童生徒数推計

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	上尾地区自治会連絡会(7月)	・人口の関係についても、国勢調査の速報で上尾市の人口は2千人～3千人増加している。	本計画では、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口の中位推計を参考に児童生徒数の推計を行っております。 上尾市地域創生総合戦略の将来展望人口の推計や国立社会保障・人口問題研究所で公表する高位推計等を分析し、様々な視点から児童生徒数の検証を行ってまいります。
002	上尾地区自治会連絡会(7月)	・西宮下や富士見は学校が近く、新たにマンションや建売住宅が建っている。そのような現状を鑑みて、慎重に検討してほしい。	
003	大石地区自治会連合会(7月)	・子供が減少することだが、コロナの影響でより加速するのではないかと思う。	
004	大石地区自治会連合会(7月)	・人口推計だが、各地区の特性を考慮していない。各地区の開発の状況を細かくみていくと、違った方向になることが良くある。この学校の特性をみていないのかとなってしまう。	
005	大石地区自治会連合会(7月)	・大石小の学区はどんどん新しい家が建ってきているエリアである。畑地も半分以上ある。10年後も子供たちがたくさんいる地域である。	
006	大石地区自治会連合会(7月)	・人口の推測は難しいと思うが、見込み違いがないようにしてほしい。	
007	大石地区自治会連合会(7月)	・人口推計については、住民基本台帳人口ベースのものと将来展望人口があるので、市として一本で、オール上尾で考えてほしい。	
008	大石地区自治会連合会(7月)	・大石南エリアの特徴は人口増である。大石地区は小泉中心に人口が増えているし、あと5年経てば上尾道路中心に人口が増えてくる。その辺り加味してほしい。	
009	大石地区自治会連合会(7月)	・10年後は人口が増えることはあっても減ることはない。まだまだ空地もあり、毎年家が増えていくので、丁寧に見てほしい。	
010	大石地区自治会連合会(7月)	・子供が減っていくのは間違いないと思う。	
011	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・瓦葺地区は東大宮駅の近くであり、30年間で世帯数は1.5倍に増えている。尾山台団地は人口が減っているが、平場は住宅がどんどんできている。	

4. 学校規模

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	原市地区自治会連合会(7月)	・ 統合しなくてはいけないのかという疑問が最初にある。生徒数の減少に合わせて、リサイクルではないが、改修・修繕を行い使うことはできないのか。	本計画では、『適正規模』として12学級から18学級の整備を進める方針です。通学区域を考慮すると、一部の学校では準適正規模である24学級整備の想定もありますが、基本は小学校では1学年2から3学級、中学校では1学年4から6学級とする方針です。 学校ごとの再編(案)においては、小規模校や大規模校が発生しないようにコストシミュレーションを行っております。 適正な規模とすることは、学校行事の活性化や部活動の種類の増加、人間関係の多様性を図ることができるというメリットがあります。適正規模の範囲内での学校規模を目指すため、1つの学校で1学年1学級規模となるような整備は現在のところ考えておりません。 ※ 学校ごとの再編(案)につきましては、規模が大きくなり過ぎていることや通学路が遠くなることから、ゼロベースで見直しを行うこととなりました。
002	原市地区自治会連合会(7月)	・ 建替えの際に児童生徒数に合わせたサイズのものを作れば、予算的にも少なくなるのではないかと思います。	
003	大石地区自治会連合会(7月)	・ 小学校の適正な学級数は各学年2～3学級とのことだが、再編時も児童数は大きく変わらないので適正ではないとなってくる。	
004	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・ 学級数についてだが、全国の半分以下の学校は12学級以下である。小さい学校はゆとりがあり、先生が一人一人に声をかけることができ、活躍する場もあり、教育的効果が高いという評価がある。12～18学級に「標準」とつけるのはおかしいと思う。	

5. 少人数学級

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	大谷地区自治会連合会(6月)	・ 鴨川小と富士見小が統合するとかなりのマンモス校になる。少人数学級と異なり、1クラスの人数が多くなり、逆行しているのではないかと。	本計画では、国の法律に基づき、小学校は35人学級、中学校は40人学級を前提にしております。
002	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・ 文科大臣は30人学級を目指すと言っている。	
003	西上尾第一団地自治会(7月)	・ 将来的には、少人数クラスの流れが全国的に来ると、国の方も言っている。	
004	西上尾第二団地自治会(11月)	・ 現在は35人学級になったと思うが、今後、児童生徒数が減ると30人学級やそれ以下の学級になってくる可能性があると思う。	

6. 学区編成

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	上尾地区自治会連絡会(7月)	・ 西中学校は大谷地区となっているが、8割は上尾地区に通っている。そのような地域の現状も考慮する必要がある。	現在は、既存施設の教室数で受け入れ可能かどうかの判断を行い、学校を選択できる区域を設けるなど、通学区域の調整に関する取組を実施しております。 今後においては、学区を調整してもなお学校間の規模の偏りに大きな差がある場合には、適正規模化の推進のための学校再編を行うこととなります。その場合は、学校選択区域の拡大や指定校の変更など、通学区域の調整も含めて実施することを想定しております。
002	大石地区自治会連合会(7月)	・ 以前、弁財地区の富士見小学区が西小学区になった。弁財地区から富士見小に通う児童が大分少なくなり、富士見小がようやく落ち着いた時期に、新しい学校づくりの検討校となり、複雑な気持ちがある。	
003	大石地区自治会連合会(7月)	・ 中分地区から大石南小への通学は不安であるとの話もあるので考慮していただきたい。	
004	大石地区自治会連合会(7月)	・ 大石地区からは、西小、今泉小、平方北小、西中に通っている子供がいる。大幅な学区の見直しがないと、再編はできないと思う。	
005	上平地区自治会連合会(7月)	・ 学校を再編するにあたって、通学距離が遠くなる場合、市町村の垣根を超えた通学区について検討するのか。	
006	西上尾第一団地自治会(7月)	・ 3街区の子供が大石南小と大石南中に通学するのはかなり通学距離がある。一つの団地という点では一つの学校に集中した方が良いのかなという考えがある。	

7. 通学距離・通学路

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	原市地区自治会連合会(7月)	・ 通学時間の問題だけである。他にも課題はあるが、通学の問題で9割は解決すると思う。	本計画では、実際の通学距離として「1.5kmから2.0km以内」を徒歩通学の目安としています。 学校再編により、徒歩通学の目安を超える場合、児童生徒の負担軽減を考慮した通学手段として、小学生はスクールバス、中学生は自転車通学を想定しておりますが、地域の皆様と丁寧に協議を行いながら検討していきたいと考えております。 また、徒歩通学における児童生徒の安全性については、地域の危険箇所や課題を抽出し、関係部署との連携を図りながら効果的な対策を検討してまいります。
002	大石地区自治会連合会(7月)	・ 歩道やガードレールの設置など、通学路の安全をしっかりと対策してほしい。	
003	大石地区自治会連合会(7月)	・ 小学生低学年で、夏の暑い時期に、重い荷物を持って徒歩で学校に到着した子供と、エアコンのきいたスクールバスで到着した子供が、果たして同時に授業をスタートできるのか。それがいじめに繋がらないのか。	
004	上平地区自治会連合会(7月)	・ 学校の再編に関して、実際に学校を作る際はその周辺状況、例えばスクールゾーン等についても同時に検討するのか。	
005	大谷地区自治会連合会(6月)	・ 低学年が通学する場合、距離が遠くなってしまう。安全性が担保されなくなる。	
006	大谷地区自治会連合会(7月)	・ 廃校になる親にとっては、登校の距離や時間が長くなるのが一番問題視すると考えるので、統合した場合の課題について、解決策を具体的に述べて大丈夫ですとアピールしないとうまくいかない気がする。	
007	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・ 瓦葺小の一部児童は東北線の踏切を渡り通っている。保護者からは、人身事故などで数時間踏切を渡れなかったり、車両が通るので見守りも大変であると聞いている。	

008	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・ 子供のためであれば大賛成であるが、子供の安全を考えると安全ではないと思う。
009	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・ スクールバスが運行したとしても、土曜日・日曜日は自分たちで渡らなければならない。自分で踏切を渡らなければならない。スクールバスを導入すれば良いとの問題だけではない。
010	西上尾第一団地自治会(7月)	・ 通学環境に変化があるため、距離的にはあまり違いがない場合でも、通学慣れしていないところへの通学は負担になる。

8. 地域拠点・防災拠点

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	上尾地区自治会連絡会(6月)	・ 避難所の問題がある。	仮に、学校再編に伴い空きが生じた学校施設につきましては、地域の皆様の意向を踏まえながら、それぞれの地域のスポーツ・文化・交流の拠点として、防災機能を含めて有効活用を広く検討してまいります。
002	上尾地区自治会連絡会(7月)	・ 防災なども検討していくということであれば、高齢者の比率というのも念頭に入れて、複合するなども検討して欲しい。	
003	平方地区自治会連合会(6月)	・ 学校は避難所としての機能がある。	
004	平方地区自治会連合会(6月)	・ 地区で災害にあったときに地域の方が避難できない状況に陥ることなど考慮し、トータルの部分も踏まえて検討してほしい。	
005	大石地区自治会連合会(6月)	・ 多機能な要素が必要になったとき、防犯・防災関係の避難所の拡張等の機能を有効的に使えるような施設にすることも必要になる。	
006	大石地区自治会連合会(6月)	・ 大石南中学校のエリアは水害時の避難所が1か所しかない。この避難所の廃止はさらに不便にさせてしまう。	
007	大石地区自治会連合会(7月)	・ 学校がなくなると、防災や地域活動が不便になるに決まっている。学校の果たす機能の重要な役割が基本計画の得点に反映されていない。	
008	大石地区自治会連合会(7月)	・ 浸水エリアには平方地区を合わせて7千人住んでいる。大石南小はすぐに一杯になる。	
009	上平地区自治会連合会(6月)	・ 地域に開放するなどの配慮はあるのか。	
010	上平地区自治会連合会(6月)	・ 改修の際に、避難所としての機能も含めて検討を行うのか。	
011	上平地区自治会連合会(7月)	・ 避難所がなくなってしまうと地域としては困る。	
012	大谷地区自治会連合会(6月)	・ 学校がなくなると災害時の避難所として使えなくなってしまう。	
013	西上尾第一団地自治会(7月)	・ 防災の避難場所としての学校は非常に重要な役割を果たしているが、少なくなるといういろいろな影響が出てくるのではないかと心配になる。	
014	西上尾第一団地自治会(7月)	・ 想定外の災害も起こりうるため、避難所は現状維持できるような方向で検討いただきたい。	

9. 学童

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	大石地区自治会連合会(7月)	・ 学童は学校の敷地内に設置してほしい。	仮に、学校再編に伴い小学校が統合された場合、統合前の既存の各小学校の学童入所児童が入所できるよう、関係機関と調整を図ってまいります。
002	大谷地区自治会連合会(6月)	・ 各学校に学童施設もあり、統合すると施設が1つになり、入所できる人数が減ってしまうという問題もあるかと思う。	

10. 跡地利用

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	原市地区自治会連合会(7月)	・ 以前、瓦葺地区の9区に公民館を設置してほしいと言ったが、市はお金がありませんと言っていた。今度はこの再編に関し、それを利用しようとするのは良くないと思う。	仮に、学校再編に伴い空きが生じた学校施設につきましては、地域の皆様の意向を踏まえながら、それぞれの地域のスポーツ・文化・交流の拠点として、防災機能を含めて有効活用を広く検討してまいります。
002	上平地区自治会連合会(6月)	・ 廃校になる学校の跡地はどうなるのか。	
003	上尾市PTA連合会(6月)	・ 学校再編により、廃校予定の体育館で活動している地域団体への対応について検討が必要である。	

11. 学校ごとの再編(案)

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	上尾地区自治会連絡会(7月)	・鴨川小も南中も(施設評価の)点数としては高いのに対象となっている。避難所としても重要な施設なのに、地域から(学校を)2つもなくしてしまうというのはとんでもないことである。	<p>学校ごとの再編(案)は、コストシミュレーションに基づき検討し、各学校の更新の方向性についてお示ししたものでございまして、市の決定事項ではありません。</p> <p>こちらの再編案については、各地区自治会や7月の地域説明会等でいただいたご意見やご要望を十分考慮したうえで検討し、必要な見直しを行ったうえで、再度お示したいと考えております。</p> <p>※ 学校ごとの再編(案)につきましては、規模が大きくなり過ぎていることや通学路が遠くなることから、ゼロベースで見直しを行うこととなりました。</p>
002	平方地区自治会連合会(6月)	・本来の平方地区で残すべき学校は平方小と太平中であると思う。平方東小までは通学距離が遠い。	
003	平方地区自治会連合会(7月)	・平方小でない、上野本郷や南、荒川沿いなどから小学1年生が通うにはあまりにも遠い。スクールバスという手もあるかと思うが、それも難しいと思う。地理的に真ん中にある平方小が一番である。	
004	平方地区自治会連合会(7月)	・平方小学校は100年以上経っている歴史のある学校である。そういう学校の名前がなくなることは非常に残念であるので、平方小については違う場所になったとしても、「平方小学校」という名前は是非残してもらいたい。	
005	原市地区自治会連合会(6月)	・一番の問題は通学の問題である。居住地がさいたま市の境までであるため、そこから原市南小学校まで歩くと50分ぐらいかかる。	
006	大石地区自治会連合会(6月)	・将来の上尾は上尾道路から発展していくと思う。大石南エリアの再編は時期尚早である。	
007	大石地区自治会連合会(6月)	・大石南中の生徒からすれば大石中への通学はかなり距離が遠く感じる。子供たちの安全も考慮しなくてはいけない。	
008	大石地区自治会連合会(7月)	・再編(案)では大石小と大石南小の統合が2029年と8年後である。基本設計や実施設計、工事等考慮すると、8年は決して長くないので、スピード感を持って対応すべきである。	
009	大石地区自治会連合会(7月)	・建物更新の課題は分かるが、大石地区は人口が増えているので、地域特性をよく検討し、統合が良いのか、生かして活用していくのが良いのか検討してほしい。	
010	大谷地区自治会連合会(7月)	・鴨川小が統廃合されるという話が独り歩きしており、大変なことになっている。この話が独り歩きをするとまずいと思う。	
011	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・瓦葺小から原市南小に通うとなると、歩道幅も狭く危険であると思う。スクールバスの話があったが、原市南小近辺も道が狭い。安全性を考えてほしい。	
012	西上尾第一団地自治会(7月)	・大石南中では、運動会や文化祭を開催するなど付き合いができていたが、大石中に統合してしまうと今までと同じように開催できるか不安になる。	
013	上尾市PTA連合会(6月)	・学校統廃合の噂だけが広がり、何が事実であるかわからない方が多い。	
014	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・2035年に原市南小、尾山台小、瓦葺小が一緒になると、1,000人を超えて、過大規模校になると思う。	
015	大石地区自治会連合会(6月)	・大石小や大石中に再編するとなるとかなり大規模なマンモス校になる。	<p>大石小学校と大石南小学校の再編案では、大石小学校と大石北小学校の通学区域の調整を考慮しました。大石小学校の再編時の児童数と学級数は、840人、24学級と見込んでおります(1学級の人数は35人)。</p> <p>また、大石中学校と大石南中学校の再編案では、大石南中学校と太平中学校の通学区域の調整を考慮しました。大石中学校の再編時の生徒数と学級数は、899人、24学級と見込んでおります(1学級の人数は40人)。</p> <p>※ 学校ごとの再編(案)は、ゼロベースで見直しを行うこととなりました。</p>
016	大石地区自治会連合会(7月)	・大石小、大石中は大規模校である。学区調整があるかと思うが、なぜ、大規模校に統合するのか理解できない。	
017	西上尾第一団地自治会(7月)	・大石中に大石南中が統合されると、さらに密になるように思える。	

12. 小中一貫教育

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	大石地区自治会連合会(6月)	・小中一貫一体校が設置される案となっているがその経緯と理由の記載がないため不明確である。	<p>学校ごとの再編(案)における原市地区及び平方地区の小中一貫一体校については決定しておりません。</p> <p>小中学校が隣接しており、2校分の敷地があることから案として示したところでございます。</p> <p>本市における小中一貫教育の導入については、今後、先進都市の事例研究や視察の実施、メリット・デメリットの整理、本市小中学校の学校現場の現状把握及び調査・分析を行い、検討を進めてまいります。</p>
002	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・小中一貫校については子供たちのことを考えて慎重に議論してほしい。	

14. その他

No.	団体名(説明月)	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	上尾市自治会連合会(6月)	・ 今後建設が始まりそうな地域、空き家に越してくる人もいる。減るだけではない。人口が増える市にしてもらわないと困る。	今後の人口減少や少子高齢化を見据えて、本市では、上尾市地域創生総合戦略を策定し、この戦略に基づき、人口減少の緩和・子育て世代の定住促進に向けた取組を進めております。
002	大石地区自治会連合会(7月)	・ 建て替えの時に在籍している子供たちにとって不便にならないよう十分考えて進めてほしい。	建替工事の際は、子供たちの学校活動に影響が生じないよう、十分配慮します。
003	大石地区自治会連合会(7月)	・ 長い時間をかけ、今の学校の真ん中に新しい学校をつくることも検討してほしい。その方が、郷土愛が生まれるのではないと思う。	新たな土地への学校建設は考えておりません。
004	上尾地区自治会連絡会(7月)	・ 千代田区のような先進的なものも考えてほしい。	建物の改修や改築にあたっては、地域や保護者の皆様の意見を伺いながら進めてまいります。並行して最新の教育環境の整備も行ってまいりたいと考えております。 なお、コストシミュレーションでは、富士見小学校のオープン教室の校舎を想定してコストを算出しております。
005	西上尾第二団地自治会(11月)	・ 富士見小学校は設備が良いと感じており、あのような学校であれば、子ども達も喜んで行くのではないかと。	
006	上尾市自治会連合会(7月)	・ 地域説明会は、市が策定した計画の周知設定をただけであって、理解させるものではない。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。 ※ 本計画を見直しすることとなりましたので、見直しにあたって参考とさせていただきます。
007	上尾市自治会連合会(7月)	・ 先日の全員協議会で話のあった検討協議会の決定事項についてだが、「検討協議会で全員が反対したとしても、教育委員会で検討した結果、原案通り進めることもありえる」との答弁があったと聞いて驚いた。	
008	上尾地区自治会連絡会(6月)	・ 本日は説明会として認められない。	
009	上尾地区自治会連絡会(7月)	・ 学校がなくなるということは若い世代が転入しなくなってくる。学校が近いことが転入条件であることが多いからだ。	
010	原市地区自治会連合会(6月)	・ 説明に来るのが遅すぎる。自治会にはもっと先に説明しないとイケない。	
011	原市地区自治会連合会(6月)	・ 今回は説明を聞いただけで、了承という意味ではないことを伝えておく。	
012	大石地区自治会連合会(7月)	・ 合計特殊出生率、生産年齢人口が減るので税収も減ってくると思う。	
013	大石地区自治会連合会(7月)	・ 旧3町3村の考え方は、学校のあり方を考えたときに無理があるのではと思う。	
014	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・ 広報を見たが、「更新計画」であり、皆学校を更新してもらえと思っている。統廃合すると見てすぐ分かるようにしてもらわないと勘違いする保護者が多い。その辺り発信の仕方を検討してほしい。	
015	原市団地自治会(7月) 尾山台団地自治会(7月)	・ 原市団地は原市小と原市南小に分断されている。分断は家庭にも入り、親同士が付き合わない。こういうことが50年以上続いている。	
016	西上尾第二団地自治会(11月)	・ 教員の中で臨採の方が多く出ていると聞いている。	令和3年4月現在、教員994人のうち95人が臨時的任用教職員となっております。